

全国BDF協議会 講演会

富士興産・恩田氏

姫路製造所の強み紹介

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会が14日に東京都内で開催した講演会で、富士興産（富士ユナイトホルディングスグループ）の恩田靖執行役員グリーン事業部長兼バイオ燃料部長が登壇した。バイオ燃料の普及に向けた課題について制度対応、安定供給、品質保証の3点を提示。同社の課題解決への取り組みとして、2025年11月に開所した姫路製造所（兵庫県姫路市）を紹介した。

「富士興産の目指す一題に関して、制度面で環境対応型エネルギーは品確法・JIS規格の普及促進」をテーマや制度改正への対応、供給面では安定的な原

講演する富士興産の
恩田靖執行役員



バイオ普及へ制度対応 安定供給・品質保証充実

ひいては普及につながる」と述べた。

姫路製造所の強みに

ついては、国内初の「濃度・比率可変型高性能ラインフレンド

下（B7）に改正されるなどしても即時対応できるとした。また大型出入荷設備が安定供給体制、AI（人工知

能）を活用した操業が備、需要家の理解がそ

ろって初めて社会実装が進む。当社は製造と供給の役割を果たしていきたい」と強調した。恩田氏は講演後、本

料調達や供給体制の構築、品質面では軽油・重油との適正な混和管

理や品質の均一化などを挙げた。

恩田氏は「バイオ燃料を製造・混和するだけでは普及しない。制

度を対応、安定供給、品質保証の三つを同時に

充足することで需要家が安心して利用でき、

下（B5）から7%以上。制度や流通の整

紙の取材に「姫路製造所は制度変更や需要拡大に対応できる設備をもつ。製造・販売者や使用者、行政に製造所の機能をお伝えできては受賞のあいさつで「製造に携わって3年

燃料の供給基盤確立や協議会活動への積極的な参画などが評価された。恩田氏

「製造に携わって3年ほどになるが、今後とも安定操業に努め、業界の発展に貢献していきたい」と述べた。